

平成27年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年12月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルトナー

コード番号 2163 URL <http://www.artner.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 関口 相三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 張替 朋則

TEL 06-6445-7551

四半期報告書提出予定日 平成26年12月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第3四半期の業績(平成26年2月1日～平成26年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第3四半期	3,203	11.2	208	41.1	214	40.9	130	35.9
26年1月期第3四半期	2,881	△6.1	147	△45.9	152	△44.6	95	△66.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第3四半期	49.06	—
26年1月期第3四半期	36.10	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年1月期第3四半期	1,781		1,072		60.2	
26年1月期	1,385		995		71.8	

(参考)自己資本 27年1月期第3四半期 1,072百万円 26年1月期 995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年1月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年1月期	—	10.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,306	11.7	248	31.6	250	29.5	153	29.2	57.85

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年1月期3Q	2,656,980 株	26年1月期	2,656,980 株
27年1月期3Q	407 株	26年1月期	363 株
27年1月期3Q	2,656,585 株	26年1月期3Q	2,656,617 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページ(<http://www.artner.co.jp/ir/>)に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、円安傾向による輸出環境の改善や政府の経済対策の効果により、緩やかに回復しております。先行きについては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動、海外経済の不確実性による下振れリスクが存在しており、注視していく必要があります。

当社の顧客企業においては、自動車関連が力強い牽引役となっており、エコカーや燃料電池等の需要も増加し、製品の変化に伴い、従来の機械設計から、電気・電子やソフトウェア設計開発分野まで技術者要請の幅も広がってきております。電気機器に関しては、ほぼ下げ止まりした感があります。こうした顧客ニーズに対応するため、営業・採用体制を強化し、積極的な展開を実行してまいります。

このような状況の中、当社の技術者派遣事業においては、技術者数、稼働率が前年同期を上回ったことに加え、学卒技術者を当初の予定より前倒して配属できたことにより、稼働人員は前年同期を上回りました。また、高いスキルを有する技術者の高付加価値な業務への配属が進捗したことに加え、平成26年4月入社の学卒技術者の質が向上したことにより、技術者単価は前年同期を上回りました。労働工数についても、残業時間の増加等の影響により前年同期を上回りました。請負事業においては、技術者を派遣事業へ戦略的にシフトしたことに伴い、受注高が減少いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,203,889千円(前年同期比11.2%増)、営業利益は208,870千円(前年同期比41.1%増)、経常利益は214,314千円(前年同期比40.9%増)、四半期純利益は130,334千円(前年同期比35.9%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ395,923千円増加し、1,781,851千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加207,589千円、売上債権の増加119,849千円があったことによるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ318,565千円増加し、709,153千円となりました。これは主に、賞与引当金の増加173,439千円、未払法人税等の増加96,307千円があったことによるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ77,357千円増加し、1,072,697千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加77,202千円があったことによるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度末に比べ207,589千円増加し、910,752千円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、324,674千円(前年同期比292,114千円増)となりました。これは主に、売上債権の増加額119,849千円、法人税等の支払額71,192千円があったものの、税引前四半期純利益214,314千円、賞与引当金の増加額173,439千円、未払消費税等の増加額84,497千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,646千円(前年同期は10,247千円の獲得)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出2,010千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、115,438千円(前年同期比84,971千円減)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出62,985千円、配当金の支払額52,427千円があったことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月17日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	703,163	910,752
受取手形及び売掛金	421,625	541,474
仕掛品	1,067	597
原材料及び貯蔵品	2,557	2,385
その他	58,883	133,912
貸倒引当金	△2,500	△3,200
流動資産合計	1,184,796	1,585,923
固定資産		
有形固定資産	88,170	85,091
無形固定資産	18,600	18,064
投資その他の資産		
敷金及び保証金	59,096	58,485
その他	35,263	34,286
投資その他の資産合計	94,360	92,771
固定資産合計	201,130	195,927
資産合計	1,385,927	1,781,851
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	70,485	7,500
未払法人税等	40,035	136,343
賞与引当金	41,675	215,114
その他	150,810	266,090
流動負債合計	303,005	625,047
固定負債		
退職給付引当金	87,572	84,094
その他	10	10
固定負債合計	87,582	84,105
負債合計	390,587	709,153
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	238,284	238,284
資本剰余金	168,323	168,323
利益剰余金	587,836	665,039
自己株式	△220	△246
株主資本合計	994,224	1,071,401
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,115	1,296
評価・換算差額等合計	1,115	1,296
純資産合計	995,339	1,072,697
負債純資産合計	1,385,927	1,781,851

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
売上高	2,881,377	3,203,889
売上原価	1,936,513	2,182,920
売上総利益	944,863	1,020,968
販売費及び一般管理費	796,877	812,098
営業利益	147,985	208,870
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	89	96
受取手数料	405	394
研修教材料	453	686
保険配当金	3,195	997
助成金収入	2,230	2,231
その他	1,520	1,618
営業外収益合計	7,908	6,037
営業外費用		
支払利息	1,884	449
その他	1,921	144
営業外費用合計	3,806	593
経常利益	152,088	214,314
税引前四半期純利益	152,088	214,314
法人税、住民税及び事業税	65,616	166,721
法人税等調整額	△9,442	△82,741
法人税等合計	56,174	83,979
四半期純利益	95,914	130,334

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	152,088	214,314
減価償却費	6,431	5,924
貸倒引当金の増減額(△は減少)	400	700
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,498	173,439
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,853	△3,477
受取利息及び受取配当金	△102	△109
支払利息	1,884	449
未収入金の増減額(△は増加)	3,217	2,815
売上債権の増減額(△は増加)	△68,084	△119,849
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,559	642
未払消費税等の増減額(△は減少)	△13,470	84,497
未払金の増減額(△は減少)	△14,350	△7,393
その他	26,256	44,201
小計	130,182	396,155
利息及び配当金の受取額	102	109
利息の支払額	△1,803	△398
法人税等の支払額	△95,921	△71,192
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,559	324,674
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,087	—
無形固定資産の取得による支出	△763	△2,010
敷金及び保証金の差入による支出	△471	△717
敷金及び保証金の回収による収入	12,588	1,328
投資有価証券の取得による支出	—	△227
その他	△19	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,247	△1,646
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△109,127	△62,985
自己株式の取得による支出	—	△25
配当金の支払額	△91,283	△52,427
財務活動によるキャッシュ・フロー	△200,410	△115,438
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△157,602	207,589
現金及び現金同等物の期首残高	850,639	703,163
現金及び現金同等物の四半期末残高	693,036	910,752



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。